

2020年度北海道支部活動 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2020年7月11日(土)

会場：オンライン会場 (Zoom)

参加者：68名 (一般参加者45名、出展者・スタッフ13名)

2020年度の北海道支部活動が、7月11日(土)にZoomを使用しオンライン開催されました。コロナ禍の中、予定していた支部集会は中止となりましたが、交流の場を継続的に提供すべく、急遽、支部活動としてプログラムを組み直しての開催となりました。告知後すぐに事前参加申請が定員に達し、これまでオフラインでの参加が難しかった方々が積極的に申請して下さったことがうかがえました。

まず、中止となった支部集会の「交流ひろば」に出展を予定していた方々にご協力いただき、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って4件の「オンライン交流ひろば」が行われました。共生、やさしい日本語、理系留学生、多読といった多様なテーマで行われた交流ひろばは、オンラインという制限された環境のなかでも、多くの方に参加していただき、和やかな雰囲気の中で情報交換や意見交換を行うことができました。



左から「オンライン交流ひろば」「新刊紹介ひろば」「集合写真撮影」の様子

また、学会等が次々と中止となり、なかなか新刊を手にとって吟味する機会が得られなくなった地域の日本語教育関係者のために役立つべく、賛助会員による「新刊紹介ひろば」が行われました。今回は、三修社様と凡人社様から、いくつかの新刊の特徴や長所などについて詳細にご紹介いただきました。「オンライン交流ひろば」に引き続いて多くの方が最後まで退出せず参加して下さり、本企画への高い関心を実感することができました。

支部活動終了後、別途オンライン上で行ったアンケートでは、9割近くの方から「満足」との回答が得られました。オンライン開催に対する評価も高く、おおむねスムーズに参加できた様子うかがえた一方で、ブレイクアウトルーム機能の不具合やオンラインでの意見交換の難しさへの言及も見られました。

今回は、学会初のオンライン支部活動だったため不安も多々ありましたが、支部活動委員と事務局、出展者が事前に予行演習を行うなど、例年とは異なる形で準備に力を注いだ結果、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった関係の皆さまに心より感謝申し上げます。

(報告者：支部活動委員 鄭恵先)